

まちのわだい

有事に備え機敏で正確な動作を

第6回町消防団小型ポンプ操法大会



ホースを肩に猛スピードで放水地点へ!!

加し、選手たちは緊張の中にも本番さながらの機敏で正確な動きを随所に見せ、日ごろの厳しい訓練の成果を十分に発揮しました。また、地元から応援に駆けつけた人たちや先輩消防団員等から盛んな応援と拍手が送られていました。なお、優勝および準優勝チームは、7月26日、甲佐町で行なわれる郡大会へ本町代表として出場します。

❖成績

優勝 第2分団第6班

(安永)

準優勝 第4分団第2班

(福原、南、内寺)

3位 第5分団第6班

(田原)

5月25日、町民グラウンドで、第6回町消防団小型ポンプ操法大会が開催されました。この大会は、有事の際、火災現場にて消防活動の基本となる小型ポンプの操作習得と、団員の士気高揚を目的とし、一年おきに行なわれているものです。

競技は、ホース延長・連結からポンプ始動、的に向けての放水までの一連の操作を、4人1組の団員が、作業を分担し行なうもので、操作の正確さと迅速な動作を競うものです。

今回も町内の5つの分団から各2班の合計10チームが参



優勝した第2分団第6班の皆さん。左から 屈岡 亨、守山純一、石原正章、平井功一選手

泥にまみれ最高の笑顔を!!

わぁ〜 どろ カップ

Wor - Doro Cup 2008 開催

6月1日、わぁ〜どろカップ（どろんこスポーツ大会）が、田植え前の木山城趾公園近くの田んぼで開催されました。

これは、町商工会青年部と㈱アスリートクラブ熊本（ロアッソ熊本）との共催で行なわれた初めての試みで、サッカーに12チーム、バレーボールに9チームの172人が参加し、全身泥だらけになりながらも笑顔で熱い戦いを繰り広げました。

また、ロアッソ熊本チームも特別参加。サッカー部門で優勝した「益城町 ONESTEP」チームと親善試合を行い、3 - 2で敗れる波乱?も。



全身泥にまみれになりながら、ボールを追い続けました!

初夏の田んぼで、泥と笑いを振りまき、親ばくを深めたイベントとなりました。

津森小児童の遭難を偲ぶ

吉川さんが紙芝居で校区を巡回

いまから59年前の昭和24年、津森小6年生22人と学校医、教師合わせて24人が、修学旅行先の八代市日奈久沖で遭難死するという痛ましい事故がありました。その遭難を記録した紙芝居がこのほど完成、元老人会長の吉川有雄さん（上小谷・77）が津森校区の9地区を巡回し、地区民とともに事故を偲びました。

6月10日、下小谷公民館であった紙芝居には、老人会員ら40人が参加、吉川さんが切々と演じる悲劇のドラマに、一同声もなく、当時に思いをはせていました。

遭難船に乗っていて、無事に助かった岡本サワ子さん（下小谷・71）は「海水を飲んで気を失いました。どうやって助けられたのかわかりません」と話していました。



校区内を巡回する吉川さん